～～*～

特に、子どもを保育所などに預けて働く共働き夫婦で起こりやすく、より深刻なのは、仕事を休むことが生活費の不足という問題に直結する場合です。

コロナ禍における「社会的な騒動」が、こうした傾向に大きく影響しています。

大阪市太融寺町の谷口医院院長は「収入が途絶えると恐れる人は多い。『陽性になるとややこしいから、PCR 検査は受けない』と言われた」と話します。

このように、必要以上に「コロナだけ」が異常に恐れられ、ほかの病気が受診もされずに放置されるのでは本末転倒です。

このような馬鹿げた事態をストップさせる施策を一刻も早く実行し、大人としての「正しい判断・認識」を持ち直して欲しいものです。

２．PCR 検査について

あらためて「PCR 検査」について調べ直し、まとめてみました。正確な知識を身につけ、正しい判断のための材料となりましたら幸いです。

(1) PCR とは

PCR（Polymerase Chain Reaction：ポリメラーゼ連鎖反応）は、生物の遺伝情報を持つ DNA を複製して増幅させる方法のことを言います。

ノーベル医学賞受賞のキャリー・マリス博士が、DNA ポリメラーゼを用いた連鎖的に増幅する核酸合成法を発明し、「Polymerase Chain Reaction」と名付けました。

当時マリス博士が、シータス社で研究していたオリゴ DNA に関する知見から、鋳型となる DNA 配列を 2 倍、4 倍 ... と増やせるアイデアを考案しました。

PCR を利用すれば、ごく微量な検体／サンプル（血液、組織、細菌、ウイルス等）で、そこに含まれるわずかな DNA から特定の配列だけを短時間で増やし、目的の微生物や遺伝子配列が存在しているかを検出できます。

この PCR の特性を活かして、体内や食品などに潜む細菌やウイルスを検出し、遺伝子の研究や DNA 鑑定など幅広い分野で利用されています。

1991 年、ロシュ社がシータス社より PCR の全事業権を取得し、医療への応用をさらに発展させていきました。

1993 年、キャリー・マリス博士が PCR の発明により、ノーベル賞を受賞しました。

同年、PCR 技術を発展させ、サイクルごとに PCR の増幅を観察する「リアルタイム PCR」が開発されました。

(2) PCR 検査について

PCR 検査は、コロナウイルスそのものを検出する検査ではありません。

PCR 検査は「遺伝子を増殖して検出する」検査のため、ウイルス由来の遺伝子も検出しますが、それ以外のもの由来の遺伝子断片も検出します。

ウイルスの死骸にも反応しますし、インフルエンザや RS ウイルスなどにも反応して「陽性」と出てしまう検査です。

よって、PCR 検査で「陽性」と出ても、検体内のウイルス存在を証明するものではありませんし、ましてやウイルスの生体内での増殖を証明するものでもありません。

PCR 陽性者を「感染者」として報告するのは誤りですし、RNA ウイルス感染症の診断目的で、PCR 検査のみを用いるのは不適切です。

また PCR 検査では、偽陽性と偽陰性が必ず生じます。

その理由と、偽陽性・偽陰性を完全にゼロにできない理由などは、次号の＜Part２＞でお伝えします。

このような間違った認識・判断、政策・施策によって、日本は今多大なる「社会的損失」を被り続け、多くの産業が傷み、多くの世帯で所得低下が加速しています。

ぜひ「５年先、10 年先」のことまで考え、一旦立ち止まって慎重な判断の上、より多くの人が「正しい選択」をしていただきたいものです。

これまでの教訓・情報が活かされ、これも１つの「防災」として、少しでも「社会的損失」が低減することを心より願うばかりです。

by Hirono

～～*～

（３）４月の地殻変動
～～*～

・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。
♪見守りケロタンからのお知らせ♪
・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。・。

◆SignalNow X（無償版）　ダウンロードサービス実施中！！
http://www.estrat.co.jp/signalnowx.html
https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/signalnowx/

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－★

◆新津波電文対応 SignalNow Lite、販売中！！
気象庁の新津波電文に対応し、津波警報・注意報も通報することができます。
「高度利用者向け緊急地震速報(予報)」を利用した通報システムです。
http://www.estrat.co.jp/snlite.html

・～・・～・～・～・～・～・～・～・発行元・～・～・～・～・～～・～・～・～・

ストラテジー株式会社
〒182-0023　東京都調布市染地 2-14-50
SignalNow シリーズの開発・配信事業を行っています。
緊急地震速報　地震動の予報業務の許可事業者　許可第 198 号
http://www.estrat.co.jp/

・～・・～・～・～・～・～・～・～・編　集・～・～・～・～・～～・～・～・～・

株式会社小林洋行コミュニケーションズ　SignalNow デスク
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町 1-15-7
https://kobayashiyoko-com.jp/sn/

――――――――――――――――――――――――――― Copyright 2022 Strategy Corporation.